



東京の林業振興の展開 (令和7年度)



東京都

■ 目次

- はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 東京の森林の機能と林業の役割・・・・・・・・・・ 3
- 東京の森林・林業を取り巻く状況・・・・・・・・ 5
- 現状及び令和7年度の主要な林業施策・・・・・・・・ 7

■ はじめに

都では、令和6年度における「東京の林業振興に向けた専門懇談会」の専門家の皆様からいただいたご意見を参考に、令和7年度に取り組む主な施策を取りまとめました。

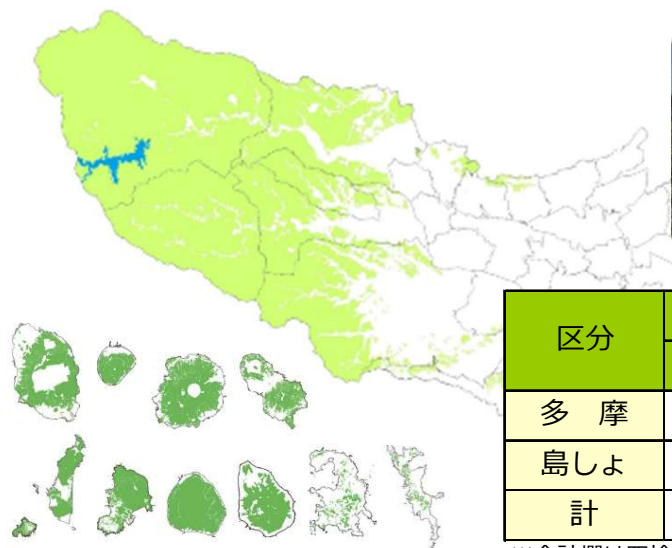
東京の林業の可能性を一層引き出していくため、令和7年度ではテーマを5つ「花粉発生源対策の加速化」「先進林業機械の導入拡大等による施業の省力化等」「木材供給能力の強化」「DXによるサプライチェーンの見える化」「多様な主体による森林整備支援の促進」と設定しました。

東京の森林・林業への理解を深めていただくため、少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。

東京の森林の機能と林業の役割

東京の森林

東京には、約79,000haに及ぶ森林があり、そのうち、多摩地域にはスギやヒノキ等からなる人工林のほか、多様な樹種で構成される天然林が広がっています。島しょ地域には、天然林を主とした森林があり、島ごとに特徴ある景観を形成しています。



[ha]

区分	民有林面積			国有林	計
	人工林	天然林	未立木地等		
多摩	30,757	20,374	539	1,182	52,852
島しょ	3,274	14,754	1,143	6,521	25,692
計	34,031	35,127	1,683	7,704	78,544

※合計欄は四捨五入の関係で合わない場合がある。

出典：令和6年版 東京の森林・林業（東京都産業労働局）

森林の多面的機能

水源の涵養、土砂の流出防止などの公益的機能のほか、木材の供給など多面的な機能を発揮しています。



水源涵養



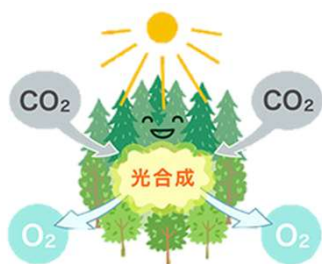
土砂災害防止
/土壌保全



快適環境形成



生物多様性保全



地球環境保全



保健・レクリエーション



物質生産

■ 地域振興に貢献し健全な森林を育成する林業

森林整備の一翼を担う林業は、持続的に雇用を生み出し、地域振興に貢献しています。

また、人工林は、間伐などの適切な手入れを加えることで、立木の生育が良くなります。加えて、林内に適度な光が入ることで下草などが繁茂し、水源涵養機能などの公益的機能が向上します。



下層植生が衰退した人工林



適切に間伐された人工林

■ 木材を利用する意義や効果

木材を利用することで、その収益が木材生産活動に還元され、人工林を伐って利用し、植え替え、育てていく循環「森林循環」が促されます。森林循環は、若い人工林が生長する過程で二酸化炭素を多く吸収するため、地球温暖化対策につながります。

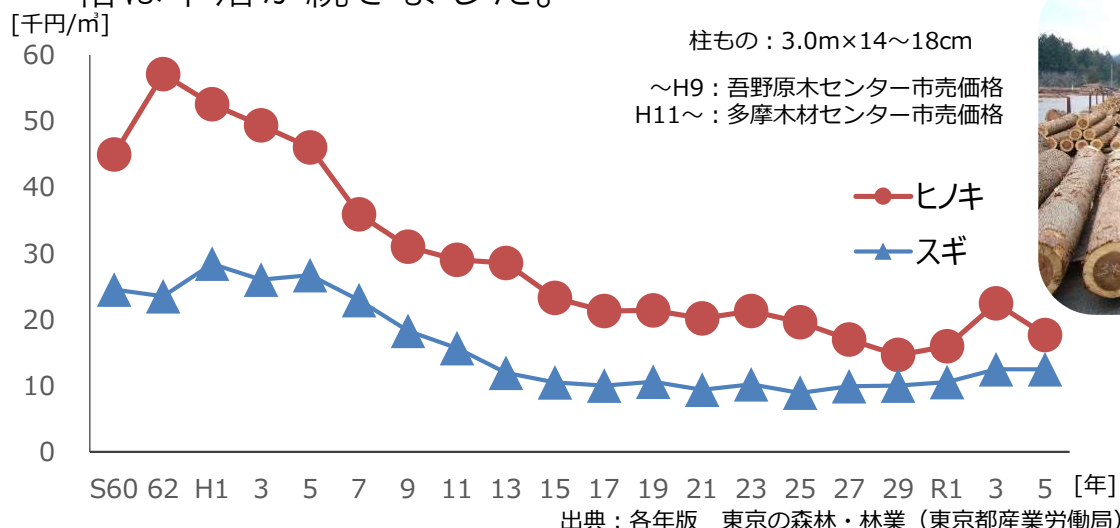
また、燃料として活用すれば、その分だけ化石燃料の使用を減らすことができます。



東京の森林・林業を取り巻く状況

木材価格（丸太）の推移

戦後の高度経済成長期に増大した木材需要に対応するため、昭和30年代を中心にスギやヒノキが広く植栽されました。社会情勢の変化とともに東京の木多摩産材（以下「多摩産材」という。）の価格は下落が続きました。



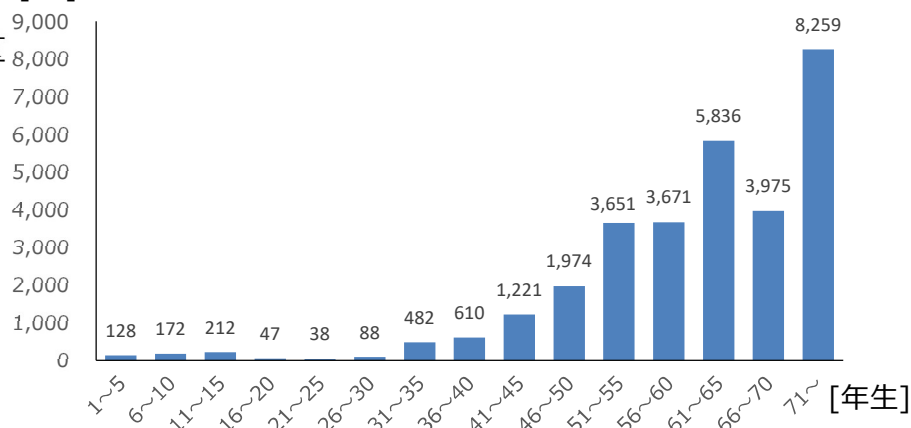
その結果、木材の販売収入だけでは人工林に適切な手入れを施し、伐採や再造林を行うためのコストが賄えなくなり、森林循環が停滞しました。

このようにして、多摩地域の林業は大きな打撃を受け、林業従事者が減少し、製材業等の廃業が相次ぎました。都では、様々な施策に取り組んできましたが、林業経営にとって厳しい状況が続いています。

人工林（針葉樹）の林齢別面積

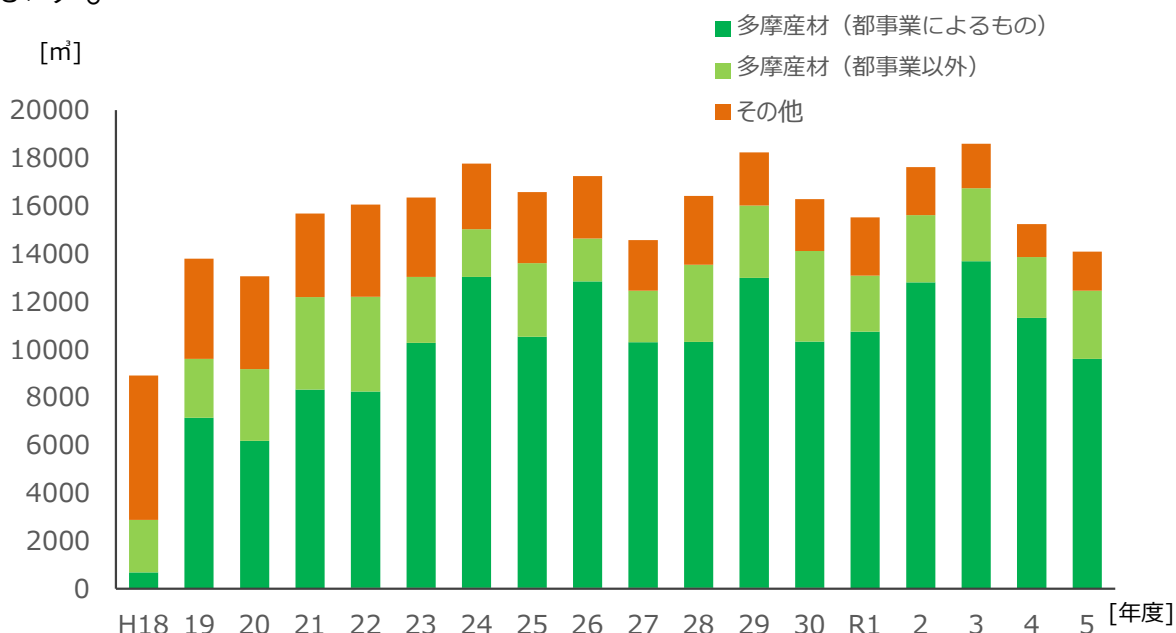
多摩地域の人工林の多く [ha]
 は利用されないまま蓄積量
 が増加し続けています。

現在は、木材として
 利用可能な50年生以上の
 人工林が約8割を占め
 ています。



■ 原木市場における多摩産材の取扱量

森林循環の停滞を背景に、都は平成18年度から、利用期を迎えたスギ・ヒノキ林の伐採・搬出と、花粉の少ないスギ等への植え替えを開始し、多摩地域の森林循環の促進と、多摩産材の安定供給、花粉飛散量の削減を図っています。都の取組を着実に進める一方で、民間による人工林の伐採・搬出も行っていく必要があります。



出典：令和6年版 東京の森林・林業（東京都産業労働局）及び東京都調べ

■ 所有者・境界が不明の森林

森林整備の推進には、対象となる森林の所有者と境界の把握が不可欠です。しかし、多摩地域の森林は、所有面積5ha未満の森林所有者が約9割を占め、小規模・分散的な所有構造である上に、複数の所有者がいる共有林もあり、登記情報が更新されていない森林も多く見受けられます。

また、所有者の世代交代が進むにつれて、所有者や境界がわからない森林は一層増加しています。

所有規模別森林所有者数及び面積

区 分	5ha未満	5～10ha	10～20ha	20～50ha	50ha以上	計
所有者数	8,848	574	365	234	122	10,143
面積[ha]	7,393	4,022	5,051	7,350	27,855	51,671

出典：令和6年版 東京の森林・林業（東京都産業労働局）

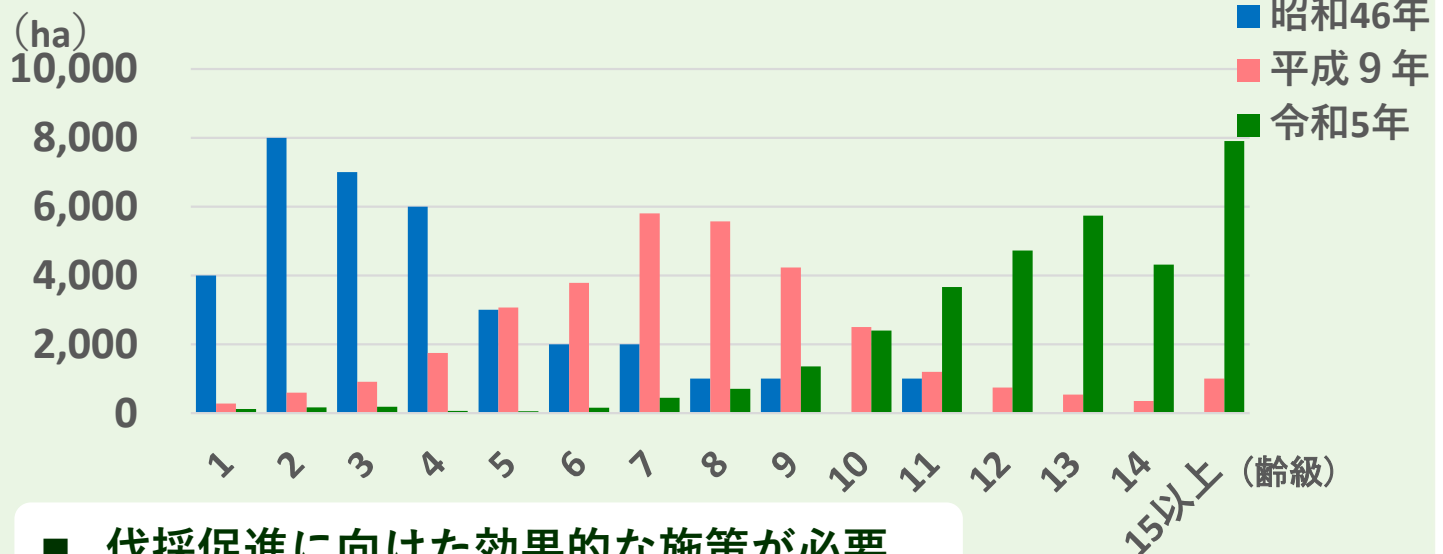
■ 現状及び令和7年度の主要な林業施策

1 花粉発生源対策の加速化

現状 1

高度経済成長期に植林された大量のスギ・ヒノキは伐期に到達

■ 齢級別人工林資源の推移（長期）



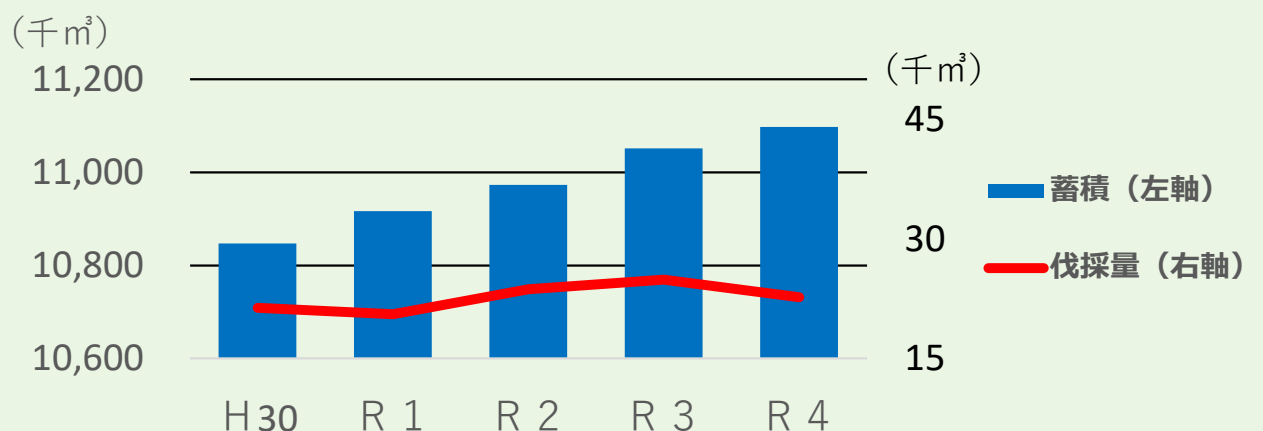
■ 伐採促進に向けた効果的な施策が必要

(出典：東京の森林・林業)

現状 2

伐期を迎えた人工林の蓄積が進む一方で、伐採が進んでいない

■ 都人工林の蓄積と伐採量の推移



(東京の森林・林業及び多摩木原木出荷量より)

■ 森林所有者のより一層の協力が必要

東京の森林・林業の更なる振興を図るため、以下の施策に取り組んでまいります。

施策1 多摩産材の供給力強化

- 林業に積極的な林業経営体に対して、**作業道の作設や林業機械導入など搬出間伐を網羅的かつ集中的に支援**することにより伐採を促進する。【新】
- **都が主体**となり、専門家を活用して**森林所有者の特定や境界の明確化**を図り、伐採等につなげる**全国初の事業**を実施する。【新】



施策2 労働力の確保

- 林業技術者の育成・確保のため、他県への積極的な**求人活動**や伐木**チャンピオンシップへの参加**を支援するなど**技術力向上への後押し**を行う。【新】



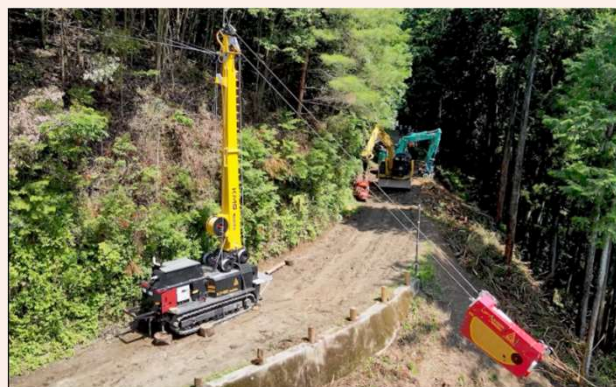
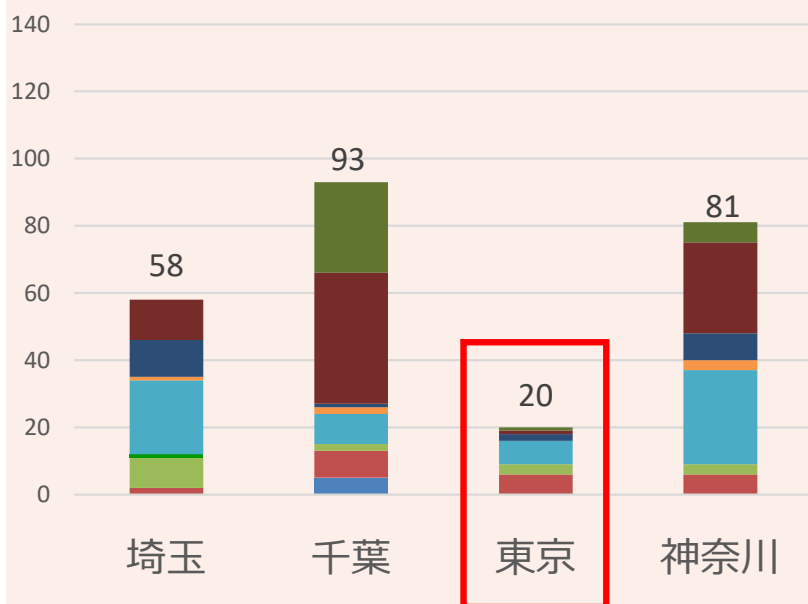
施策3 環境意識の高い企業との連携

- 企業等が取り組む**森づくり活動**等により**吸収・貯蔵される二酸化炭素量**の認証を**広葉樹にも拡大**し、森林の役割を**付加価値**として評価する。【拡】

2 先進林業機械の導入拡大等による施業の省力化等

現状 1 伐採・搬出等に効果的な林業機械の導入が低い

■ 高性能林業機械の保有状況（近隣県）



タワーヤーダ導入

- フェラーバンチャ
- プロセッサ
- フォワーダ
- スイングヤーダ
- その他
- ハーベスタ
- スキッダ
- タワーヤーダ
- フォーク収納型グラップルバケット

（令和4年度林野庁調査）

■ 安全を考慮した先進林業機械の導入等を促進

現状 2 林業機械を扱える技術者が不足

導入された林業機械の操作習得の研修



■ 技術者育成に向けた効果的な研修の展開

施策1 林業機械運用のための環境整備

- 林道の機能を高度に発揮するため、**森林情報を活用して資源量の多い林道**を優先的に整備するとともに、林道の保全・安全性の向上も図る。【新】
- 林業経営体が**林業機械**を効率的に稼働できるように、**作業道の作設**を支援する。【新】
- ICTや遠隔操作などの**先進技術**を搭載した**林業機械**を、都が林業経営体に**無償で貸し出し**、自ら導入する**きっかけを提供**する。

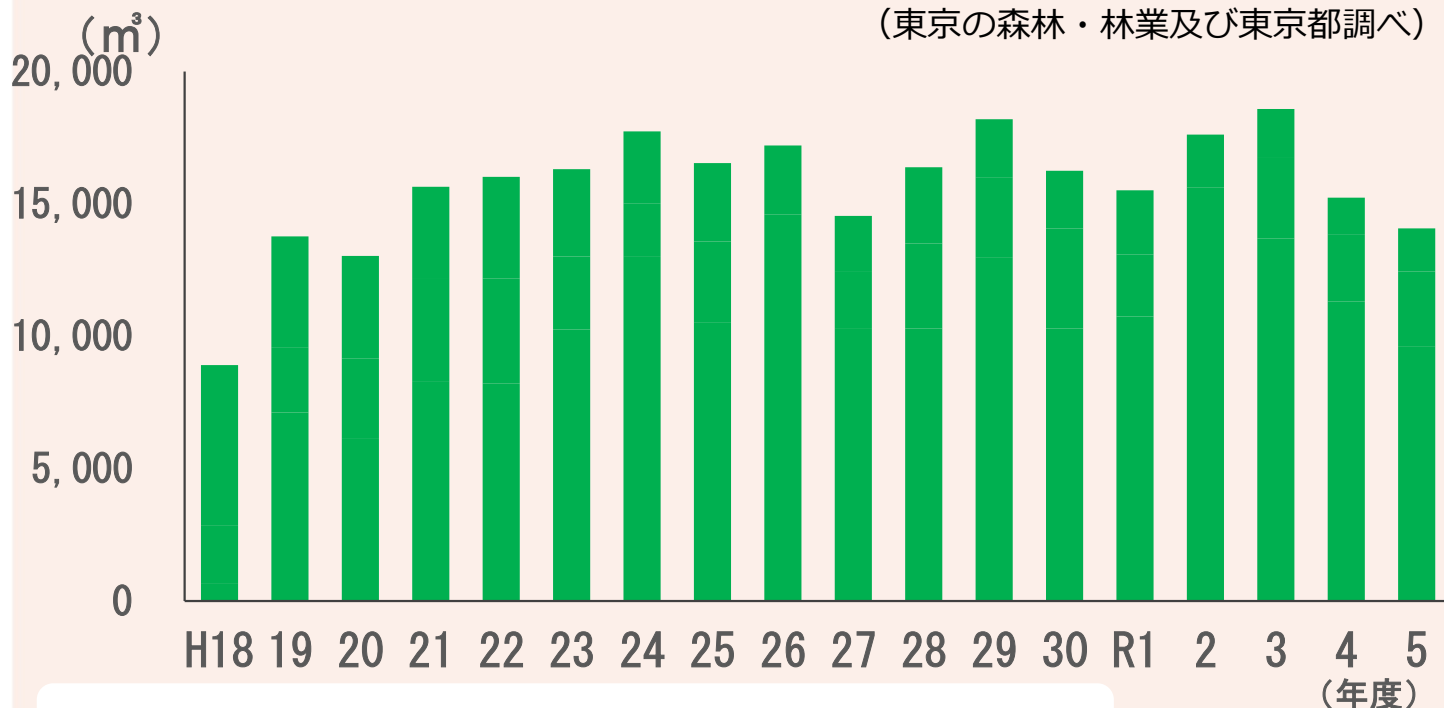


3 木材供給能力の強化

現状1 原木市場の取引量は横ばい

■ 多摩木材センターにおける原木取扱量推移

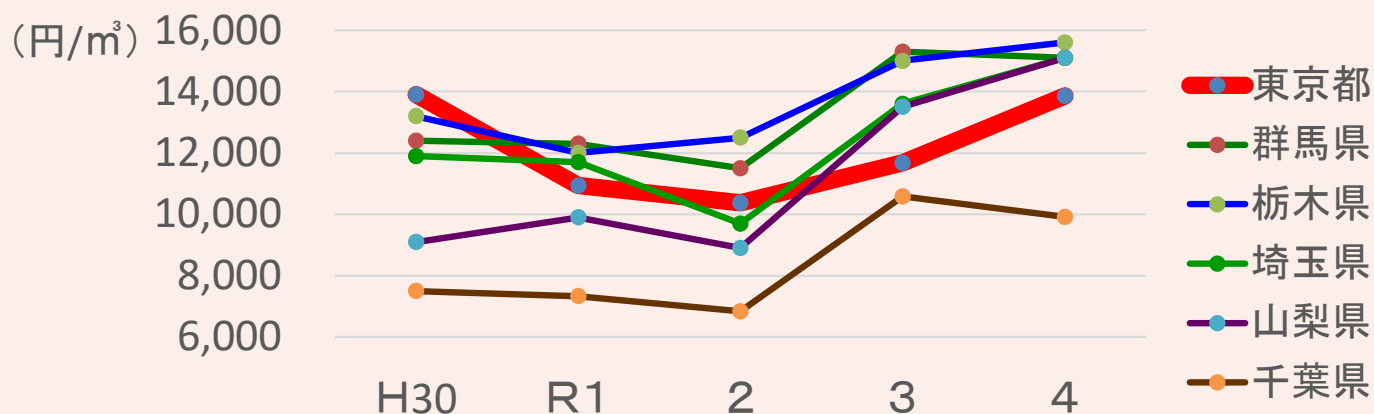
(東京の森林・林業及び東京都調べ)



■ 多摩産材流通拠点である原木市場の機能拡充

現状2 取引価格は、関東 近県の県産材の中でほぼ中位

■ 多摩木材センターにおける原木取扱量推移



■ ブランドイメージの構築による高付加価値化

施策1 原木市場の機能強化

- 多摩産材を取り扱う流通拠点の機能を強化し、伐採量の増加に対応していく。【拡】



施策2 外国人材活用の可能性検討

- 労働力確保のため、外国人材の受入態勢整備に向けた課題等を調査する。【新】

☑ 「特定技能制度」について

人材確保が困難な産業上の分野において、一定の専門性・技能を有し即戦力となる外国人材を受け入れることが目的でつくられた制度。

特定技能「木材産業」は令和6年3月に新たに導入され、同制度を活用して外国人材を受け入れることが可能となった。

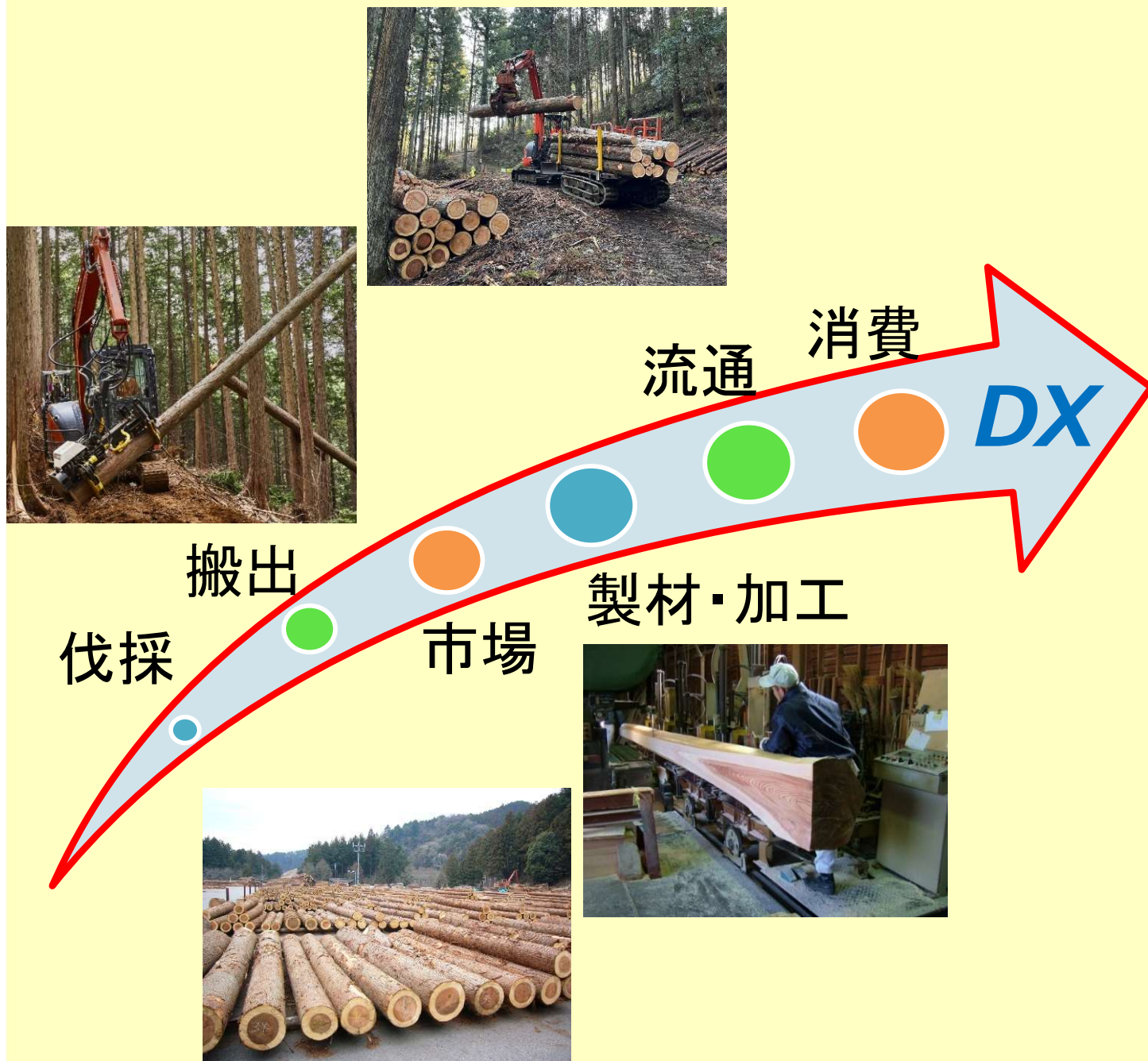
施策3 木材生産力の強化

- 建築基準法の改正により需要拡大が見込まれる、J A S 認証の取得を支援する。【新】
- 労災を減らすため、安全衛生対策に係る資格取得等を支援する。【新】
- 多摩産材の品質向上と製材事業者の生産性を高めるため、施設整備に係る経費を支援する。【拡】

4 DXによるサプライチェーンの見える化

現状 1

林業分野において、ドローンやレーザ計測、3次元画像など、先進技術が進みつつある



- 製材業者等が必要とする供給情報を収集・整理し提供
- 伐採から消費までの情報のサプライチェーンの構築

将来的には、需要と供給のマッチングをタイムリーに行うため、伐採からエンドユーザーまでの一気通貫した流通情報の共有を目指す

施策1 サプライチェーンの構築

- 多摩産材の出材情報などを製材事業者や供給者が共有する場（プラットフォーム）を整備する。【拡】

- プロユーザー及び一般消費者向けに多摩産材に関する情報を広く発信し、供給者と利用者をコーディネートする。【拡】



5 多様な主体による森林整備支援の促進

現状 1

多摩地域と区部の自治体が連携し、森林環境譲与税を活用した森林整備等の取組を実施



森林環境譲与税の活用に係る都内連携に関する協定締結式
(令和5年7月31日)

■ 森林環境譲与税の有効活用に向けた連携強化と更なる機運醸成

現状 2

SDGs を目指す企業等の関心の高まり



企業の森



とうきょう林業サポート隊

■ 多様な主体や手法により森林整備を促進

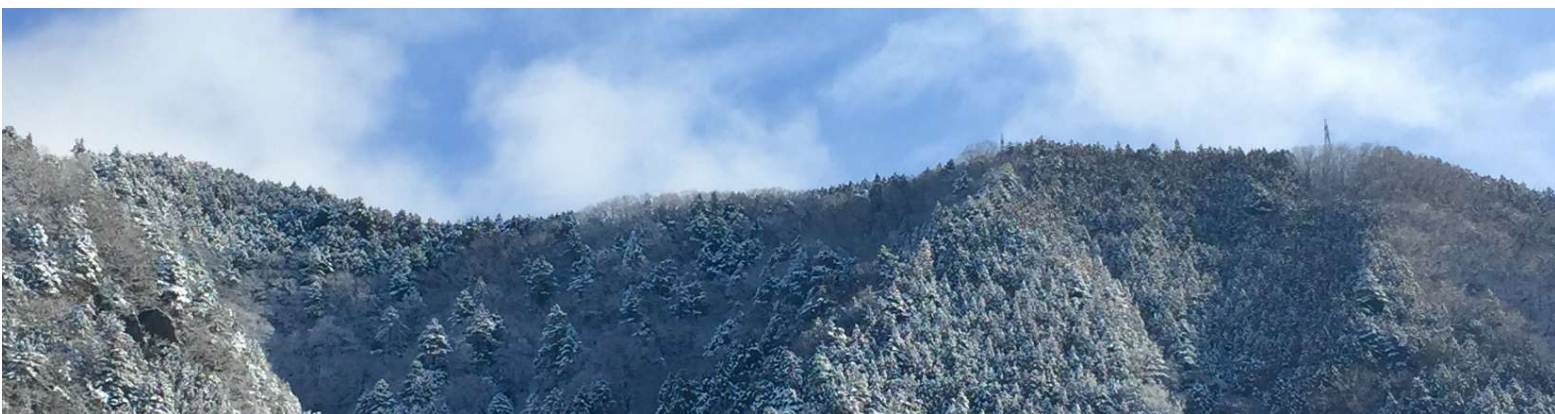
施策1 新たな担い手発掘

- 次世代の人材を育成するため、高等学校に森林・林業にかかわる学習方法の提案などを行う木育アドバイザー（仮称）を派遣する。【新】
- 若い世代をターゲットにして、山しごとの認知度向上のため、林業技術者によるパフォーマンスやVR林業体験などイベントを通じて関係人口の拡大を図る。【新】

施策2 森林空間の活用

- すべての世代を対象にして、森林をフィールドとした体験ツアーを実施する等木育活動を支援する。【新】





東京都産業労働局農林水産部森林課
東京都新宿区西新宿二丁目 8 番地 1 号
TEL.03-5320-4854